

地域連携室だより



Topics.1 日本医療マネジメント学会で2演題を発表しました

7月18・19日に宮城県の仙台国際センターで開催された「第27回日本医療マネジメント学会学術総会」にて、当院地域連携室から2演題の発表を行いました。

池川主任より「2024年診療報酬改定における『下り搬送』導入の取り組み」、比嘉より当連携だよりの取り組みとして「広報誌の最適化と情報共有による効果的な広報活動の実現～協働による発行体制の強化～」を、それぞれ口頭で発表しました。(2演題の発表スライドを一部抜粋し、掲載します。)

「地域連携室だより」を通して、今後も院内および法人に関する情報を、連携医療機関の先生方やスタッフの皆さまに分かりやすく、見やすい形で提供し、地域医療連携の強化に努めていきたいと思ひます。



▲初めての学会発表で緊張しました。

結果

BEFORE

こう変わった!

AFTER

嬉しい効果

- 地域連携室だよりをきっかけに予約があった。
- 「疾患ごとの診療体制や治療法が見えて助かります」「毎号楽しみにしています」と連携先の方の声がかけられた。
- こんな副産物も!**
外来担当医をQRコードすることでペーパーレス化と印刷と封入にかかる業務時間が大幅カット!

▲広報誌の最適化と情報共有による効果的な広報活動の実現～協働による発行体制の強化～

【下り搬送の流れ】

南部地区LINEネットワーク
沖縄県南部地区の急性期や回復期等を含む10病院で構成。

▲2024年診療報酬改定における『下り搬送』導入の取り組み

地域連携室のつづやき

下り搬送とレスポンスの大切さを再確認!



学会に参加したメンバーと、嵩下院長・西平副院長をはじめ、「EGAO課(職員満足度向上・問題解決のための部署)」と情報交換を目的としたランチ会を行いました。学会では「下り搬送」の取り組みを発表している施設が多く、地域医療資源を有効に活用することを目的として「下り搬送」が重要視されていることを改めて実感しました。また、毎月「地域連携室だより」を発行していることは、当院地域連携室の強みであると再認識できました。学会を通じて、県内外の医療機関の工夫や取り組みを学ぶことができました。ランチョンセミナーで聴講した県外医療機関の事例では、「レスポンスの早さ」が円滑な連携に繋がっている点が印象的でした。学会で得た学びを日々の業務に活かし、よりスムーズな連携構築を目指していきたいです。(地域連携室比嘉)



▲学会報告も兼ねたランチ会



社会医療法人友愛会 沖縄県豊見城市字与根50-5
友愛医療センター TEL.098-850-3811(代)

地域連携室

TEL.098-852-2575 FAX.098-852-2152
【受付時間】平日 8:30~17:00/土曜日 8:30~12:00



▲医療従事者専用ページ



▲外来担当医表



▲受診予約申込書